

## ●海藻やカニ、魚などを食べる鳥たち



砂浜や干潟などの浅い海はさまざまな生きもののくらす場所であり、私たちに食べ物やいこいの場などいろいろな恵みを与えてくれる場所です。大阪湾では浅い海の多くが埋め立てられ、私たちの便利で快適な生活をささえる工場や道路などが作されました。

今、砂浜や干潟をよみがえらせるこころみが「大阪湾再生行動計画」の中のひとつのテーマとしてすすめられています。

「大阪湾再生行動計画」で検索！ <http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/kaigi/shiryou.html>

### INFORMATION

堺浜では、NPOなどの団体が主体となって、生きものの観察会や釣りなどによる調査をしています。活動に興味のある方、堺浜や生きものについての質問のある方は下記団体にお問い合わせください。

#### 堺浜で活動している団体

公益社団法人 大阪自然環境保全協会  
<http://www.nature.or.jp/>

浜寺公園自然の会  
<http://sites.google.com/site/hamaderasizen/>

NPO法人 釣り文化協会  
<http://turibunka.or.jp/>

NPO法人 環境教育技術振興会（愛称 CAN）  
<http://www.npo-can.org/>

一般社団法人 大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア (CIFER・コア)  
<http://cifer-core.jp/>

堺2区生物共生型護岸（友海ビーチ）への入場については下記にお問い合わせください。

国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所 調査課  
<http://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kobegicyo/>

2009年12月堺浜に友海ビーチができ、釣り文化協会と大阪自然環境保全協会が自然観察会を開催してきました。これはその成果に基づき、国土交通省近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所の支援を得て作成したものです。

文・構成：本多俊之（浜寺公園自然の会）

監修：山西良平（大阪市立自然史博物館）

鍋島靖信（（独）大阪府立環境農林水産総合研究所）

（一社）大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア

デザイン：北田智子（（一社）大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア）

写真：＜堺浜航空写真＞国土交通省近畿地方整備局、＜ウミモワレカラ＞大谷道夫（農学博士）、＜ミサゴ＞関優、＜他＞本多俊之

このリーフレット、堺浜での環境学習については浜寺公園自然の会（本多）までお問い合わせください。  
TEL：090-2100-6947 MAIL：[hamaderantr@yahoo.co.jp](mailto:hamaderantr@yahoo.co.jp)

# 堺浜で学ぶ浅い海。干潟の大切さ

## ●堺浜はどんなところ？



## ●水をくんでみよう



「汽水域」は川から淡水と海水がまじりあう栄養ゆたかな場所です。

堺2区生物共生型護岸  
[友海（ゆかい）ビーチ]



堺浜自然再生ふれあいビーチ



堺浜にある友海ビーチ、堺浜自然再生ふれあいビーチは、生きものの住み場所や人と海とのふれあいの場を再生（さいせい）するために、人がつくった浜です。

※堺2区生物共生型護岸は通常公開していません。構造などについては「友海ビーチガイド」に紹介されています。

## ●岸壁（がんぺき）をかんさつしてみよう



## ●みつけてみよう いろんな生きもの



栄養ゆたかな汽水域では、小さな植物プランクトンが増え、それをカニやエビ、魚が食べ、さらにそれを大きな鳥が食べるといった、生きもののつながり（じょくもつれんさ）が生まれます。

## ●干潟を掘ってみよう



（※写真の殻の文字は追跡調査のためのマーキングです。）

## ●シジミで浄化実験



2時間後



コーヒーフレッシュをとかした水にヤマトシジミを入れ、2時間ほどたつと、水がすんできました。ただし、コーヒーフレッシュは取りこまれる前に固めではきだされており、こうしたものを偽糞といいます。貝の上の白いものがそうです。ヤマトシジミは水をすいこんで、その中の小さな生きものプランクトンなどをこして食べています。

二枚貝は水の汚れを取りのぞく一番の手です。

## ●どんなさかないとわかるかな？



水深が浅い河口の浜辺や干潟（ひがた）は魚の子どもが育つナーサリー【ゆりかご】と呼ばれています。

川から流ってきた生きものたち

